

令和3年9月20日

各区担当理事の皆様

事務局 央戸幸雄

まん延防止等重点措置の適用期間中でしたが、皆様のご協力が無事秋季大会1日目を終えることができました。

今後も緊張感を持続して、コロナ感染防止に努めていきたいと思えます。秋季大会2日目の組み合わせです。

I・IIブロック(海岸公園第5、第6球場)は練習場所がないため、試合と試合の間隔を30分空けました。

参加チームは、メンバー表交換時に全員の健康チェックシートを提出してください。

メンバー表交換時に提出した登録票は、責任審判員が空白部分を削除した上、署名してチームに返還する取扱いとなっております。

したがって、勝ち上がったチームは、次の試合のメンバー表交換時に、前の試合のときに責任審判員が署名した登録票をメンバー表と一緒に提出しなければなりません。

各団に連絡願います。

令和3年 仙台市スポーツ少年団 第32回秋季・新人野球交流大会大会要項

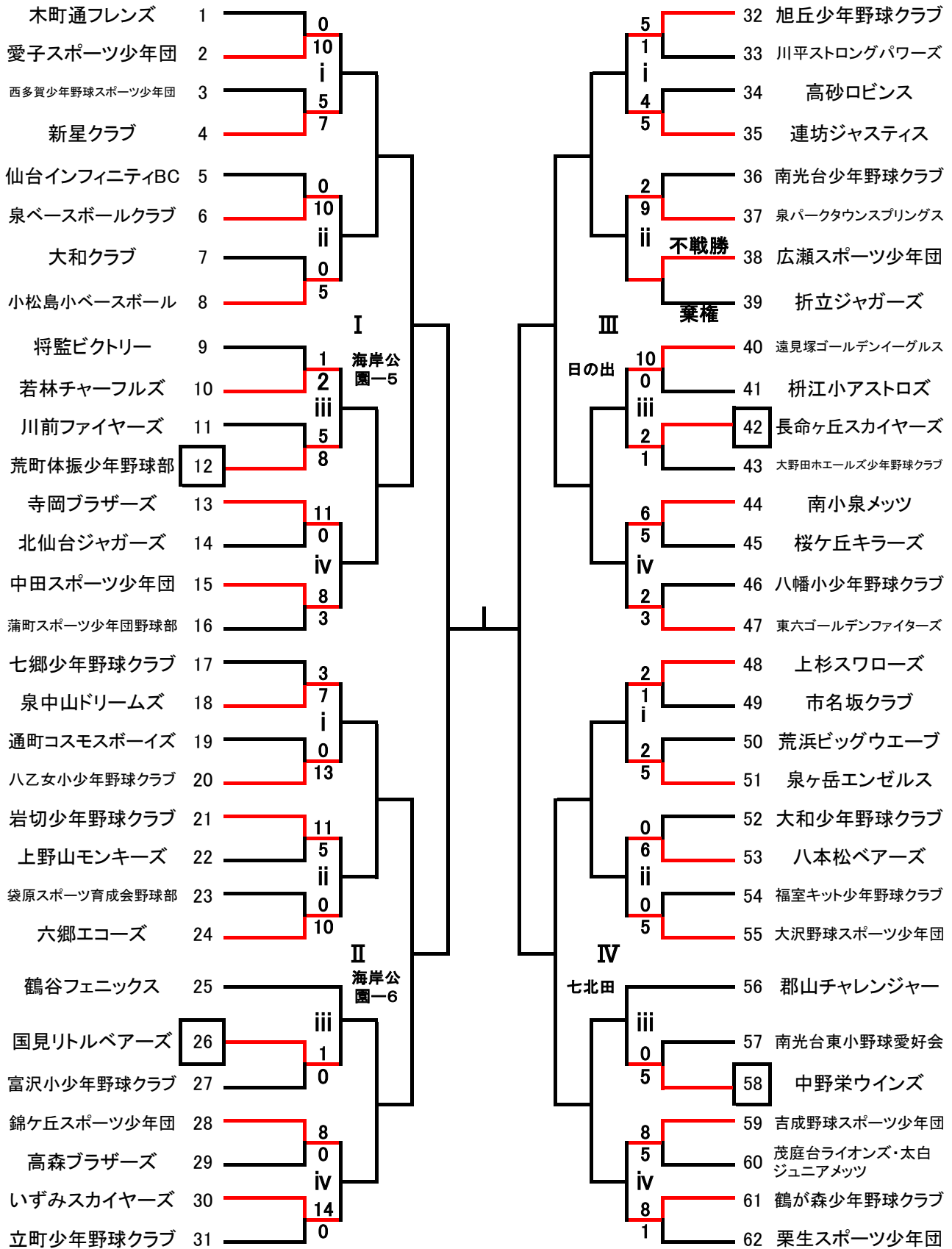
別紙1

- 1:趣 旨 仙台市スポーツ少年団(野球)が一堂に会し、日頃の活動の成果を示し、
団員相互の交流を計るとともに技能の向上を目指すこと。
- 2:主 催 仙台市スポーツ少年団
- 3:主 管 仙台市スポーツ少年団野球部会
- 4:後 援 仙台市野球協会
- 5:協 賛 ㈱NIKKAメモリーアート アクティースポーツ ナガセケンコー(株)
- 6:試合期日 秋季大会:令和3年9月20日(月)・23日(水)・10月2日(土)・17日(日)・23日(土)・30日(土)
新人大会:令和3年9月26日(日)・10月9日(土)・11月6日(土)・20日(土)・27日(土)・28日(日)
(ただし学校行事などのための調整日に土・日曜日を使用いたしますので了承ください。)
- 7:開会式 開会式は行いません。
開会式は、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止にします。
優勝旗、優勝杯、準優勝杯は、9月20日、試合会場で返還願います。
- 8:参加資格 (1)参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし、仙台市内の
小中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会
で協議し参加資格を認める。
(2)指導者及び選手はスポーツ安全協会傷害保険に加入していること、または、同等の保
険に加入していること。
(3)リトルリーグに登録している者は参加を認めません。
(4)登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。
合同チームのユニフォームは、それぞれのチームのユニフォームの着用を認める。ただ
し、背番号は統一した番号とする。
- 9:その他 (1)大会要項及び大会規則による。
(2)雨天等で開催が危ぶまれるような場合は、試合会場担当責任者(部会役員)に各団の
(3)試合会場集合時間は試合該当団及び審判担当者とも試合開始予定時刻30分前に致し
ます。(但し、第1日目の第1試合を除く)
(4)ボールボーイは試合該当団より大人3名をお願い致します。(内1名は外野)
(5)試合終了後のグラウンド整備は試合終了該当団2団で行って下さい。
(6)事故等が発生した場合は、速やかに試合会場責任者(部会役員)に報告して下さい。
(7)ゴミ・たばこの吸殻等は各団でお持ち帰り下さい。
(8)コロナ感染防止対策として、グラウンド担当団は本部席に消毒液を準備願います。また、
各団はそれぞれ消毒液を準備して自チームの消毒をお願いします。
(9)胸部保護パッドの使用について
低学年の選手が高学年の選手と対戦する場合、体力面。技術名において差が出るため、
事故防止の観点から胸部保護パッドを使用するのが望ましい。
(10)その他ご不明等がある場合には部会事務局長(宍戸 幸雄)まで、電話にてお問い合わせ
せ確認して下さい。(携帯090-9031-0225)

令和3年度仙台市スポーツ少年団第32回秋季野球交流大会2日目(9月23日)組合せ

9月23日

9月23日



□ は、1日目(9/20)のグラウンド担当団
 ◎ は、2日目(9/23)のグラウンド担当団

仙台市スポーツ少年団 野球交流大会規則

- 1 参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし、仙台市内の小・中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会にて協議し参加資格を認める。なお、新人戦において、団員は本部登録がされていなくとも、参加する事が出来る。
- 2 編成選手は野球部会所定の団員登録用紙に試合の都度提出する事とする。
- 3 チーム編成は競技者必携のとおりとする。
- 4 登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。ただし、他のチームからきた選手は、前のチームの試合に参加できない。
- 5 試合は5回戦とし、3回以降10点差の場合コールドゲームとする。（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝戦及び決勝戦は7回戦とし、5回以降10点差の場合コールドゲームとする。）5回終了後同点の場合は、特別延長（ノーアウト満塁）を2回まで行い同点の場合は終了時のメンバーにて抽選で勝敗を決める。
（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝・決勝戦の7回終了後同点の場合も同様とする。）
- 6 雨天コールドゲームの判断は、控え審判（ゴールド）及びグラウンド責任者が行い、次の場合、正式試合とする。
 - ① 3回の表裏を終了した場合
 - ② 3回表の終了時に後攻チームが勝っている場合
 - ③ 3回裏の攻撃中に後攻チームが勝ち越した場合
 - ④ 3回裏の攻撃中に後攻チームが同点においついたとき、終了を命ぜられた場合
（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝・決勝戦は、3回を5回に読み替える。）
- 7 第5項の規定にかかわらず試合時間が70分を超えた場合は、その回を以って終了し新しいイニングに入らずコールドゲームとする。なお、同点の場合はそのまま特別延長に入る。（但し、7回の場合は90分で同様とする。）
- 8 試合開始時刻30分前には、必ず試合会場に到着し、本部で先発メンバー表の提出（4部提出。放送設備のある場合は5部提出。）をして先攻、後攻を決め試合に備えて待機する。
（但し、開会式実施第1試合該当団は、例外とする。）
- 9 試合開始予定時刻になっても試合会場に来ないチームは棄権とみなし、相手チームの勝ちとする。
- 10 投手の1日のイニング数は10回を目標とするが、強制するものではない。但し、指導者として選手の健康管理には十分留意いただきたい。
- 11 春季野球交流大会の成績上位チームが、県大会を棄権した場合は、野球部会が主催する次年度の春季野球交流大会への参加を認めない。
但し、学校行事等の場合については、その都度協議することとする。
- 12 試合は、全日本軟式野球連盟の野球規則および学童の部の規則にて行う。

大会審判の取り組みについて

各種大会の審判については、毎年大会終了後各チーム関係者より、ジャッジに対するクレームが多く審判の技術向上が叫ばれております。一昨年より、仙台市野球協会のゴールド及びシルバーの審判員に出来るだけ審判をお願いしております。

また、今まで控え審判としてお願いをしていた全軟連泉支部も少年野球の審判について出来るだけ、スポ少独自で審判を行って欲しいとの要望もありました。スポ少の審判費支出の面でも多額の金額を支払うこととなっております。

平成22年度より、仙台市スポーツ少年団の各種大会の審判については、次のとおりと致しますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 公認審判のグラウンドへの配置を行わず。仙台市野球協会のゴールド及び準ゴールドの審判を配置することと致します。配置された審判には日当として1,000円を支給する。

2. 大会の審判は、各チームの皆さんに従来どおり試合終了後の試合の審判を行ってまいります。勝者が主審と2塁、敗者が1・3塁の審判を行ってまいります。但し、グラウンド担当団は1~3塁の塁審をお願いします。主審は第一試合のみゴールド及び準ゴールドの審判員にお願いいたします。

3. 審判は、審判技術の向上と正確なジャッジを行っていただくことを目差し各チームの仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド、シルバーの審判員にて対応願います。

4. 審判の講習会は従来どおり年2回行いますが、仙台市野球協会の審判講習会においても、審判徽章（全軟連の審判徽章）を受領できるようタイアップしていきます。

5. 試合中にジャッジなどで問題があった場合は、主審、塁審の4名で協議し判定しますが、控え審判のアドバイスを受けて協議し判定を行うことも出来ます。

6. 審判の服装は、各区で定めるシャツかポロシャツ。審判徽章は、仙台市スポ少の大会のみ、全軟連の審判徽章、ゴールドの徽章、シルバーの徽章で行っても良いこととします。但し、県スポーツ少年団野球協議会のジャンボ大会などは全軟連の審判徽章のみとなりますのでご注意ください。

グラウンド担当の皆様へ

外野ネットの設置方法

1塁側、3塁側にホームベースより70mの位置にポイントを設置
2塁ベースの中心より、先ほどの70mのポイントに巻き尺を置き
円を書きこの場所にネットを設置願います。
会場によっては、70mを取れない場合があります。その際は安全を
考慮しながら設置ください。

なお、ベース間、距離など、競技者必携(学童の部)でしっかり確認して
試合をさせて下さい。

